

そろそろ5年生の学習にも慣れてきたでしょうか。日能研のカリキュラムでは、同じ単元をくり返し学習していきますので、すべてを理解できなくても気にすることはありません。自分のペースで学習を進めていきましょう。

第22回～第24回では、第22回で「接続語に着目して前後のつながりをとらえる」、第23回・第24回で「具体例に着目して文章全体のつながりをとらえる」という説明文の学習を行います。

また、「読む」「書く」ツールでは、語句単元として「修飾部の主語・述語」「二文を一文にまとめる」「条件・帰結の関係」を学習し、文の作りの基本知識を身につけます。

宿題用教材の「栄冠への道」は、必ず授業動画を視聴した後で取り組んで下さい。「栄冠への道」は授業の内容を忘れないうちに取り組むようにしましょう。

#### ◆第22回 説明文 接続語の使い方／修飾部の主語・述語

今回は「接続語」に注目して、言葉と言葉、文と文、段落と段落のつながりをつかめるようになることが目標です。接続語も指示語と同様に、文章内容を正確にとらえるための手がかりになります。これまで学習した「重要語句」「中心文」の知識も使って、文章の内容を正しくつかめるようになりましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「修飾部の主語・述語」について学習します。文の中心となる主語・述語、修飾語の部分にも主語・述語が含まれている文について考えていきます。複雑な文の内容を正しくつかめるようになりましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・課題1・2

「読む」「書く」ツール・・・①～④

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～6

「読む」「書く」ツール・・・①～④

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第二十二回

④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～4 ※動画内で解説しています。

### ◆第23回 説明文 具体例／二文を一文にまとめる

説明文の読解方法として、「具体例」に着目して取り組みます。「具体例」とは、「話題をわかりやすく説明するために用いる例」のことで、話題と合わせて文章の内容を整理することがポイントです。

また、「読む」「書く」ツールでは「二文を一文にまとめる」ことを学習することで、指示語・接続語などに着目し、文と文のつながりを意識できるようになることが目標です。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・課題

「読む」「書く」ツール・・・①～③

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・①～③

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第二十三回

- ④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～3 ※動画内で解説しています。

### ◆第24回 説明文 具体例と中心的内容／条件・帰結の関係

前回学習した「具体例」の知識を使って、「文章の中心的内容」となる話題や結論を読み取っていくことが目標です。

また、「読む」「書く」ツールでは「条件・帰結の関係」を学習します。条件となる文と帰結（結果）となる文のつながりを考えて、適切なつなぎ方をつかむことが目標です。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・課題

「読む」「書く」ツール・・・①～④

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・①～⑤

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第二十四回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～3 ※動画内で解説しています。

2月から新5年生の学習がスタートしました。5年生になると、学ぶことが多くなってきますので、しっかりと取り組むようにしましょう。第23回～第25回では、分数計算のしくみについて学習していきます。操作のしくみの「ルール」をしっかりとおさえながら、取り組んでください。

各回の学習の目安は以下の通りです。

### ◆第22回 数と計算 ～分数と倍分・倍分～

今回から、いよいよ分数を扱うことになります。分数には、具体量を表す数（私はこの肉を $\frac{1}{3}$ kg食べた）の側面と、割合を表す数（私はこの肉の $\frac{1}{3}$ 食べた）の側面とがあります。このちがいを明確にしていくことが大切になります。倍分・約分などしっかりと理解していくと、このちがいもより明確になります。また、同分母のたし算・ひき算も学びましたが、これは3年生から学んでいるので大丈夫ですね。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～④ 知識技術①～⑧

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑧

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①

栄冠への道・・・学び直し③①, ②

ひとりで問題と向きあうための準備①～⑤

### ◆第23回 数と計算 ～分数とたし算・ひき算～

分母が異なる分数は、通分することによってたし算・ひき算ができますね。この一手間をかけることによって、今までの計算のしくみと同じになります。また、答えるときには、「既約分数で答える」という原則がありましたね。実は、通分することで「最小公倍数」、約分することで「最大公約数」を発見することがはやくなってきます。また、小数と分数を行き来することも学びました。数の世界はどんどん広がってきますね。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③、知識技術①～⑥

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑥

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 $\boxed{1}$ ,  $\boxed{2}$

栄冠への道・・・学び直し③ $\boxed{1}$ ,  $\boxed{2}$

ひとりで問題と向きあうための準備 $\boxed{1}$ ～ $\boxed{6}$

#### ◆第24回 数と計算 ～分数とかけ算～

整数の世界で「かけ算」を学んだときは、「すぐにわかったよ」と感じた人も多かったはず。しかし、小数・分数の世界になると、一気に難しくなりますね。しっかりと理解を深めながら取り組みましょう。ただし、分数のかけ算のしくみはかんたんでしたね。「分母は分母でかけ合せ、分子は分子でかけ合せる」ことで計算はできます。ただ、注意する点としては、計算の途中で約分することでした。常に、約分できないかどうかを確認しながら進めていきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③ 知識技術 $\boxed{1}$ ～ $\boxed{4}$

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・ $\boxed{1}$ ～ $\boxed{4}$

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 $\boxed{1}$ ,  $\boxed{3}$

栄冠への道・・・学び直し③ $\boxed{1}$ ,  $\boxed{2}$

ひとりで問題と向きあうための準備 $\boxed{1}$ ～ $\boxed{5}$

発展講座で扱う問題は応用力を必要としますので、問題によっては難しいと思いますが、動画を見ながらしっかりと学習していきましょう。

◆第22回 数と計算 ～分数と約分・倍分～

いよいよ分数に取り組んでいきます。分数は単位（kg、m、Lなど）のついているもの、つまり量を表すときと、単位がなく（倍がついていることはある）何倍であるかを表すときがあることを理解しておきましょう。今回学習した「約分・倍分」は、第19回・第20回で学習した「約数・倍数」と大きく関わっています。

◆第23回 数と計算 ～分数とたし算・ひき算～

分数の大小をくらべるには、「通分」が有効な手段となります。また、分母が異なる分数のたし算・ひき算では、必ず「通分」が必要になってきます。その際にそろえる分母ですが、「最小公倍数」であることを意識しましょう。異分母の分数のたし算・ひき算を練習することによって、最小公倍数もすばやく見つけられるようになります。また、「小数→分数」「分数→小数」の変換ができるようになると、数をより多面的にみることができるようになります。

◆第24回 数と計算 ～分数とかけ算～

分数のかけ算のしくみ自体は、容易に理解できると思います。ただ、計算の過程で約分する習慣をつけていくことが必要です。そのためにも、「この数を素因数分解したらどうなるだろう？」と数に慣れ親しむことが大切です。また、「もとになる量の何倍か」を意識していくことによって、「割合」の概念にもつながっていきます。

一日一日と春に近づいているのを感じますね。春が近づき、身の周りの昆虫や植物の様子も変わっていきます。ぜひ、立ち止まって観察してみましょ。3月の理科では「植物の体の働き」「節足動物」「せきつい動物」について学習します。

### ◆第13回 呼吸・光合成と蒸散

植物が生きるために行っている呼吸・光合成・蒸散の3つの働きを学びます。それぞれの働きやしくみについて考えてみましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・呼吸、光合成、蒸散の仕組みを理解しよう。
- ・光合成や蒸散の実験の手順について意味を考え、結果からどのようなことがわかるのか考えよう。
- ・呼吸、光合成、蒸散の3つの働きのつながりを理解しよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

### ◆第14回 足に節がある仲間たち

節足動物の体のつくりや育ち方の変化に目を向け、同じ所やちがう所をもとにして、分類していく方法を学びましょ。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・節足動物の体のつくりのちがいを理解しよう。
- ・昆虫について、体のつくり・成長の仕方・冬ごしなど、同じ所やちがう所に目をつけて分類してみよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

### ◆第15回 背骨がある仲間たち

背骨を持つ動物の体のつくりや生活の仕方に目を向け、同じ所やちがう所をもとにして、分類していく方法を学びましょ。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・せきつい動物の体のつくりのちがいを理解し、分類してみよう。
- ・特に、メダカの体のつくり・育ち方・飼うときの注意点など理由と共に理解しよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

②「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第13回 川がつくる平地と人々の暮らし

- 1 平野が川の働きによってつくられること、日本の川は世界のおもな川と比べると長さが短く流れが急であるという特色を持つことなどを学習します。川と平地（平野・盆地）はセットで覚えるようにしてください。テキストの地図をよく見て覚えましょう。水系（本流、支流、分流）という語句が出てきますが、重要な語句ではありません。
- 2 川と地形の関係をさらに深めて学習します。河岸段丘・扇状地・三角州といった重要な地形について学習します。それぞれの地形の特色を理解しましょう。
- 3 平野の特色、とくに危険性について学習します。川が運んできた土砂がつもって平野ができたということは、洪水がおきやすいということです。防災や減災を意識しましょう。ご自身の住む地域のハザードマップを、市役所などのホームページで確認してみるのも面白いでしょう。

【これもおさえておこう！】

☞オプション 探求・シナジー

（むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。）

☞白地図作業ノート P10（川）、P11（平野・盆地）

◆第14回 特色ある気候と人々の暮らし

- 1 気温が高くなる理由や雨が降る理由について学習します。緯度の高低や標高の高低、季節風の風向きなどによって、どのように変化するのかを確認してください。
- 2 日本各地の気候の特色について学習します。テキストにのっている各都市の「雨温図」から、その地域の特色を読み取りましょう。入試には必出の単元です。
- 3 気候が引き起こす災害について学習します。最近日本でも毎年のように大きな災害が起きています。地域ごとに起こりやすい災害を確認し、その対策もあわせて覚えていきましょう。

【これもおさえておこう！】

☞オプション 探求・シナジー

（むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。）

◆第15回 移り変わる日本の人口

- 1 明治時代以降、日本の人口は増加します。これは医療や公衆衛生が発達したからです。北里柴三郎や野口英世といったこの時代に活躍した医学者の伝記などを読んでみても良いでしょう。
- 2 日本の総人口は、戦争の時期をのぞき、増加していきました。いまの日本の人口は減少傾向にあること、外国人労働者が増えていることなど、「社会探検」を読むなどして、理解してください。



- ③ 過密と過疎について学習します。とくに過疎になるとどういったことに困るのか、「コラム」を参照して、確認しましょう。
- ④ 人口ピラミッドについて学習します。日本は少子高齢化が進んでいることを理解しましょう。なぜ少子高齢化が進んでいるのか。この理由について考えてみましょう。
- ⑤ 働く人の移り変わりを学習します。時間があれば「やってみよう！」をしてください。産業別就業人口の中心がどう変化してきたかを理解しましょう。

【これもおさえておこう！】

☞ オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)